

# 厚生文教常任委員会 視察研修報告

## 視察日

平成 26 年 9 月 29 日～30 日

## 視察先

・長野県箕輪町教育委員会

## 視察目的

・箕輪町の学力向上に向けた施策等に関する研修

## 視察内容

箕輪町は長野県のほぼ中央に位置し、人口約 2 万 5,000 人の田園工業都市として発展している町です。私たちは「箕輪町の学力向上に向けた施策」について視察研修を行いました。

小中学校の教育目標は「生きる力を育成する学校教育の推進」つまり個性を伸ばし、誠実で実践力のある人間性豊かな児童生徒の育成を目指すとともに、心豊かで心身ともに健康な成長を促すため、保育園から



工夫を凝らした取り組みを学ぶ

中学校まで一貫した英語活動や運動遊び、読書・食育、体験的学習等、多様な教育の推進を計るといふものです。具体例を挙げると

- ①学力向上に向けた施策であるスタディサポート事業として
- ・夏休み寺子屋教室く小学生を対象に公民館等で夏休みの宿題をみたり、竹とんぼづくりや座禅等の出前講座を実施。
- ・中学生放課後学習く部活が終わった中学 3 年生の受験に向けた学力向上への取り組み。主として国語、数

学、英語で実施。時間は午後 4 時 30 分～午後 6 時（1 時間 30 分）

・小学校の廊下学習く職員室前の廊下に、机と椅子を置き、始業時間前、2 時間目後の休み時間、昼休み、放課後などいつでも OK、質問があればすぐそこにいる先生方に聞く。これは 4 ～ 6 年生が対象に行われています。

②ひと味ちがう箕輪の子どもも育成事業として

- ・国際交流員配置事業く保小中に国際交流員を配置、小学校の外国語活動に英語学習プログラムを導入。
- ・食育推進く学校栄養教諭を中心に食育と地産地消の活動を推進
- ・読育推進く保育園から中学校まで読育事業を実施
- ・運動遊びく保育園で行われている運動遊びを小学校 1・2 年生まで実施
- ・特色のある学校づくりく学校の創意工夫を凝らした自立的な取り組みに対し学



箕輪町にて

校教育振興交付金を交付  
以上平成 26 年度の箕輪町の教育行政の基本方針の主だったものをあげてみました。が、「地域の子どもは地域で育てる」、子どもたちに学ぶことの楽しさを知ってもらい、学校、家庭、地域の連携により学力向上につなげるというものでした。ただ美浦村ですぐに取り入れるにはボランティア教師が集まるか、保育所から中学校まで外国語教師を配置できるか、予算等克服しなければならぬ問題が多々あるなど感じました。